

授業科目名・形態	人間の理解 I 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	小野 聡子	実務経験の有無	無	開講期	1年前期

【授業の主題】

人間を理解する上で「人間の尊厳」は最も重要なことであり、自立・自律した生活を支えるためには尊厳の保持が基本的に必要となる。人間の尊厳・人権尊重、権利擁護の考え方が自立や自律した生活を支える為に何故必要か。本講は、尊厳と自立・自律をめぐる歴史としくみ、介護場面での倫理的課題などについて講義を通して学び、さらに、演習を通して体得し、介護福祉の倫理的課題への対応能力の基礎を養うことを目的とする。

【到達目標】

- 1) 人間の尊厳と自立の意義について、自己決定ならびに自立と自律との違いから確認できる。
- 2) 人権思想・福祉理念の歴史の変遷について、糸賀一雄『福祉の思想』、朝日訴訟と介護保険法・障害者総合支援法から確認できる。
- 3) 介護場面における自立支援について、本人主体と自己決定の観点から確認できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 人間を理解するということ
- 第3回 人間の尊厳と利用者主体
- 第4回 人権思想の潮流とその具現化
- 第5回 人権や尊厳に関する日本の諸規定
- 第6回 社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷—人は人をどう援助しようとしてきたか
- 第7回 社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷—戦後の新たな福祉のあり方
- 第8回 人権尊重と権利擁護
- 第9回 介護保険法における尊厳と自立を考える
- 第10回 自立の概念の多様性
- 第11回 自立とは
- 第12回 介護を必要とする人々の自立と自立支援
- 第13回 介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性
- 第14回 利用者の自立支援について考える
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義と演習で行う。

【授業準備】

- ①受講するすべての学生は各回の授業において参照する教科書の該当ページを「授業前に一度は読んでくること」
- ②余裕のある学生は教科書の該当ページにおけるわからない語句などを「専門書や辞典などを用いて調べておくこと」

【主な関連する科目】

コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ、介護の基本Ⅰ～Ⅵ、介護過程Ⅰ～Ⅴ、生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ、日常生活支援技術演習Ⅰ～Ⅹ など

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編：人間の理解（最新版）、中央法規出版、2019.

【参考文献】

- ・糸賀一雄：福祉の思想、日本放送出版協会、1995.
- ・大坂社保協・よりよい介護をめざすケアマネジャーの会編：ここまでできる！ホームヘルプサービス“利用者の望む暮らし”を実現するために、日本機関紙出版センター、2010.
- ・生存権裁判を支援する全国連絡会編：朝日訴訟から生存権裁判へ—いま、改めて「朝日訴訟＝人間裁判」から学ぶ、あけび書房、2014. など

【成績評価方法】

授業態度（主体的な授業参加度を重視する）10%、小テスト30%、前期定期試験60%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

本講は介護に従事する人はもちろんのこと、対人業務に従事する人には人間を理解する上で重要な科目となります。人間の尊厳とは何か、自立・自律した生活とは何かを新聞やニュースなどを通して、普段から深く考えるようにして下さい。